

## 1 Global Mini Basketball Movement

子どもたちの多くは5～12歳の間にスポーツ、特にチームスポーツと初めて触れ合うことになると考えられています。この年代の子どもたちにバスケットボールを惹きつけることが、競技発展の重要な要素です。この年代のバスケットボール、すなわちミニバスケットボールを充実させることが求められ、FIBA(国際バスケットボール連盟)は30年前から活動し、率先的に支持してきました。

FIBAは、2018年から**5～12歳の子どもたちをターゲットに「遊び心で行う草の根バスケットボール」を促進**し、バスケットボールファミリーの拡大を目的に「Global Mini Basketball Movement」をスローガンに活動を展開しています。

## 2 Mini Basketball Convention

「Global Mini Basketball Movement」の代表的な活動として「Mini Basketball Convention」が世界の各地域で開催されています。これは各国のU12世代代表者が参加して、世界的規模でミニバスケットボールの普及・育成について討議します。

グループセッションでは、各地域や国の異なった課題に対してディスカッションするなど国境を越えて様々な視点から検討し、ミニバスケットボールがさらに発展するための情報共有が図られます。

一方で開催国の現状に応じて240人～2800人の子どもたちと、各国の代表者が参加するフェスティバルが開催されます。このプロジェクトを通じ、バスケットボールの活動が十分行われていない国に対して応援メッセージを送り、バスケットボールファミリーの拡大を目指しています。



FIBA Asia Mini Convention 2018 (Colombo, Sri Lanka)

## 3 Easy Basketball

Easy Basketball はFIBAが提唱している低年齢層の普及を目指し、ヨーロッパを中心に広がりを見せています。Easy Basketball とは5～7歳の子どもに焦点を当て、その年代のニーズと欲求を考慮に入れたルールなどのフレームワークを構築し実践されています。

## 4 Global Logo

FIBAでは、誰もがGlobal Logoを使用する権利があることを宣言し、このロゴの使用を奨励しています。



# FIBA MINI BASKETBALL DOS AND DON'TS



## ワンポイントアドバイス



**GOOD**

### 楽しみに焦点を当てる

子どもたちは友人と一緒にスキルを学ぶためにスポーツに関わり、そしてスポーツに対して興味を深めます。

### 用具を変える

プレーヤーの身体能力に合うための用具に変えてください。

### 尊敬を教える

レフェリーを尊敬し、どのような状況であってもスポーツマンシップに則りプレーすることをプレーヤーに教えてください。  
規範となる行動はコーチから始めます！

### 異なった得点を設定する

異なる技術を強調するために得点の方法を変え、全てのプレーヤーが得点できる機会を与えてください。

### ルールを教える

ミニバスケットボールのプレーヤーと保護者には、ゲームについて基本的なルール（考え方）について説明が必要です。ゲームでは「勝つ」ことではなく「楽しむ」「成功する」ことを求めます。そのためには、バスケットボールの技術をより一層高めることが重要となり、このことについて理解を深め、保護者は支援することに関わってください。

### ルールを変える

全プレーヤーがゲームに関われる機会を最大に与えるルールに変えてください。

### コートやプレーヤー数を変える

1チームを3～4人に変えることで、各プレーヤーがボールを扱える機会を多く提供することができます。または、子どもにふさわしいコートサイズに変えてください。



**BAD**

### 命じない

子どもたちがプレーする方法を見つけ出すことができるように質問をしてください。

### ゾーンディフェンスを行わない

ゾーンディフェンスは14歳までするべきではありません。

### バスケットボールだけを行わない

発展的な技術（例えばパッシングゲーム、ドリブルゲーム）を習得するために、様々な楽しい活動を行ってください。  
子どもたちが既に行っている遊びやゲームにバスケットボールの要素が発揮できるように工夫を加えてください。

### 勝つことだけのコーチングはしない

プレーヤーには平等な出場機会を与えてください。身長や能力に関係なく、ペリメーターやポストなど様々なポジションのプレーを学ぶことが大切です。

### ファウルアウトを適用しない

5ファウルとなってもプレーを続けさせてください。

### 大人と同様に指導しない

子どもの身体的、精神的成長に適した指導を行ってください。そして、子どもに適したゲームに変えてください。

## Easy Basketball

Easy Basketball は、5～7歳の子どものみに焦点を当て、その年代のニーズと欲求を考慮に入れたルールなどのフレームワークを構築し実践されており、ヨーロッパを中心に広がりを見せています。

Easy Basketball の成功は、バスケットボールの将来にとって非常に重要な役割を果たすと考えられていることから、FIBAはEasy Basketball の普及を提唱しています。

### 1. Philosophy (フィロソフィー)

フレンドリーで協力的な環境下で子どもの能力開発を行います。どのような場面でも絶対的な勝利を収めることを求めるのではなく、子どもたちの主体性を伸ばす教育を確実に実践することです。

### 2. Overview (概要)

メソッドは、5～7歳の子どものために必要な能力を開発するためのプログラムで構成されています。用具として調整が可能なリングと柔らかいボールを使用することで、子どもが安心してバスケットボールが行えるプレー環境を整えます。そして、学校だけでなく、ショッピングモール、デパート、バスケットボールクラブなど、様々な場所で行える機会を設けます。

子どもたちが、初めて遊び心のある Easy Basketball に接することで、喜びや楽しみを感じることができ、同時に運動能力の調整が促進されます。

### 3. Policy (方針)

Playing for fun 楽しむ	No results and ranking 結果やランキングなし
Everyone plays みんなでプレーする	Let the child take initiatives and not the coach コーチではなく子どもにイニシアチブをとらせる
Playing without being exhausted 疲れ切らずプレーする	Playing against other players of same age/level 同じ年齢／レベルの他のプレーヤーと対戦する
Protection of physical integrity 身体的保護に努める	Simple rules and referee adapted シンプルなルールとレフリーの適応
Love the game ゲームを愛する	Adjust time and tournament length 時間とトーナメントの長さを調整する
Understand the game ゲームを理解する	Analyze the game ゲームを分析する

#### 4. Rule (ルール)

- ・両手のドリブルも構いません。
- ・ドリブルを止めて、ボールを保持した後もドリブルしても構いません。
- ・ボールを持って2歩進んでからドリブルをしてもかまいませんが、3歩以上ボールを持ってからドリブルをすることはできません。
- ・得点について  
リングに当たれば1ポイントとし、シュートが成功すれば3ポイント獲得します。
- ・ゲーム中に相手（オフェンスのプレイヤー）に触れば、相手チームに1ポイントとボールポゼッションが与えられます。

#### 5. Game (ゲーム)

ルールを理解したらゲームを始めよう！

- ・1チーム、3～4人で編成し、3×3でゲームを行います。
- ・全員1回、多くても2回はゲームに出場する機会を与えなければなりません。
- ・1ゲームを3～4分とし、6～8回連続して行います。



#### 6. Coach (コーチ)

- ・適切な指導（アプローチ）が行えることが保証された教育システムを確立することが必要です。
- ・5～7歳の子どもたちに対するアプローチについて、深い見識と実践力が不可欠となります。
- ・ミニバスケットボールに特化したコーチ養成プログラムを修了したコーチでなければなりません。
- ・エリートのトップコーチであっても、子どもたちを指導することはできません。

#### 7. Promotion (プロモーション)

イベントなどに多くの子どもたちが参加することを促進するために、プロモーションを積極的に行います。例えば、マスコットを作成し、アニメを通してマスコットとストーリーボードに取り組んだりします。一方で、これらのプロモーションは、ゲームやそれに関わった人々をリスペクトするような価値観を子どもたちに教育する方法でなければなりません。

